

## ●最近の県内経済

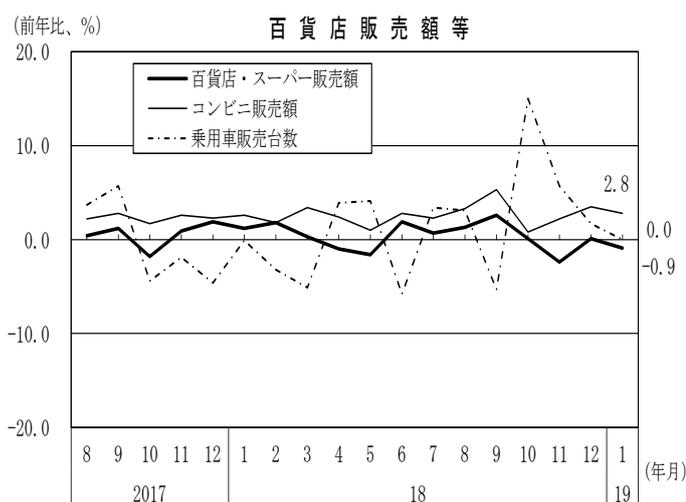
**基調判断**  
(2019年1月を中心として)



**今月の概要**

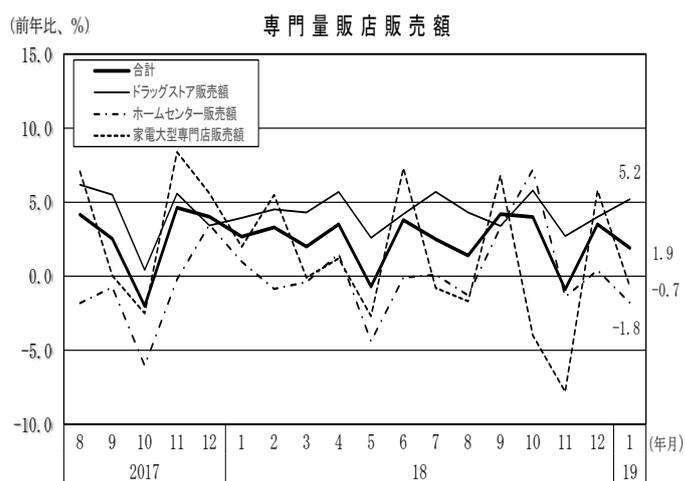
県内景気は緩やかに回復している。

### 1 個人消費 持ち直し



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

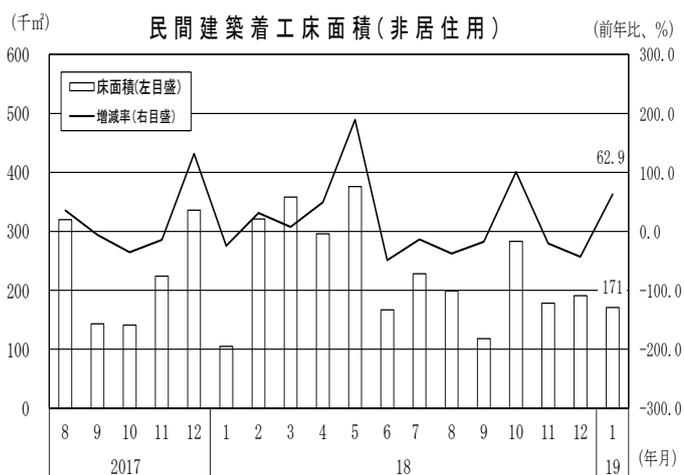
1月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、837億円で前年比0.9%減と2か月ぶりに減少した。百貨店は同4.3%減と引続き減少し、スーパーは同0.1%減と僅かながら減少した。コンビニ販売は、同2.8%増と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、同0.0%と横ばいとなった。内訳をみると、小型車が同5.3%減少したが、普通車が同2.8%増、軽乗用車が同1.6%増とそれぞれ増加した。



(資料) 経済産業省

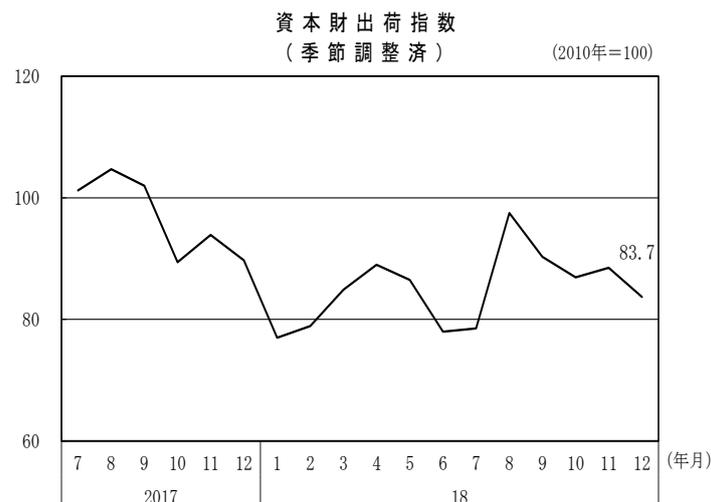
1月の専門量販店販売額は、630億円で同1.9%増と2か月連続で増加した。内訳をみると、家電大型専門店は163億円で同0.7%減、ホームセンターは152億円で同1.8%減と減少したが、ドラッグストアは316億円で同5.2%増と引続き増加した。

## 2 設備投資 横ばいの動き



(資料)国土交通省

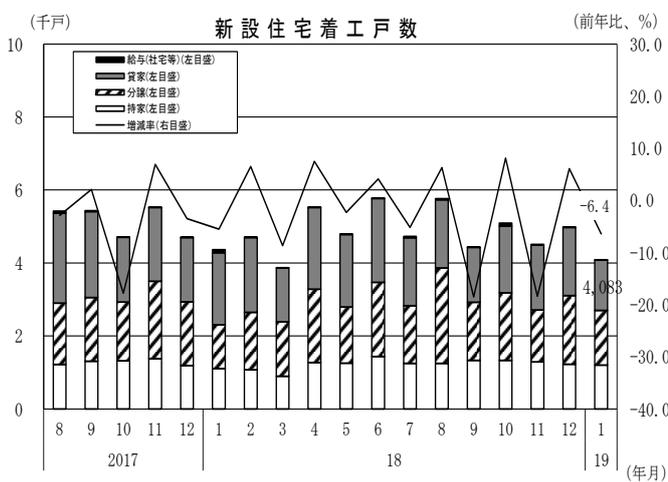
1月の民間建築着工床面積(非居住用)は、171千㎡で前年比62.9%増と増加した。1月までの年度累計では前年同期比0.8%増と横ばいの動き。1月単月を用途別にみると、事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫などが増加した。



(資料)埼玉県

12月の資本財出荷指数(季節調整済)は、83.7で前月比5.4%の低下となった(2か月ぶりの低下)。

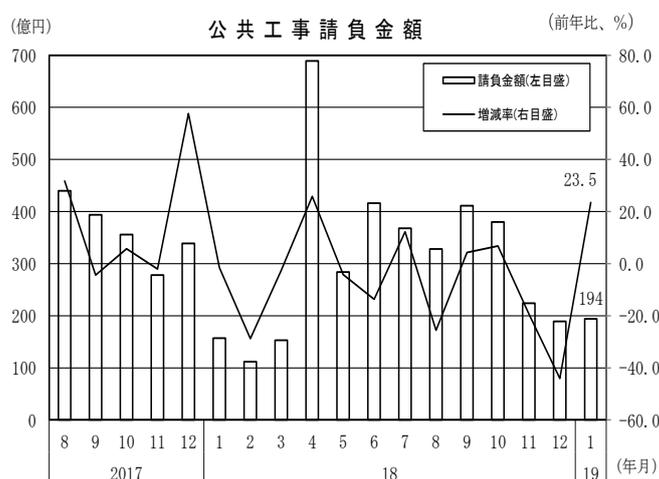
## 3 住宅建設 足元減少



(資料)国土交通省

1月の新設住宅着工戸数は、4,083戸で前年比6.4%減少した。利用関係別にみると、持家が1,199戸で同8.5%増、分譲戸建てが1,213戸で同4.0%増と増加したが、貸家が1,382戸で同30.1%減と大幅に減少した。

## 4 公共工事 横ばいの動き

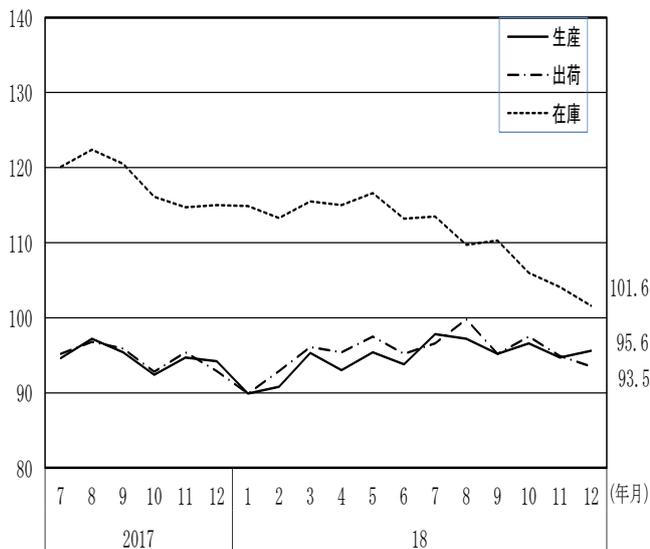


(資料)東日本建設業保証株式会社

1月の公共工事請負額は、194億円で前年比23.5%増加した。1月までの年度累計では前年同期比3.7%減と横ばいの動き。1月単月を発注者別でみると、国が減少したものの、独立行政法人等、県、市町村などが増加した。

## 5 生産活動 一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) (2010年=100)



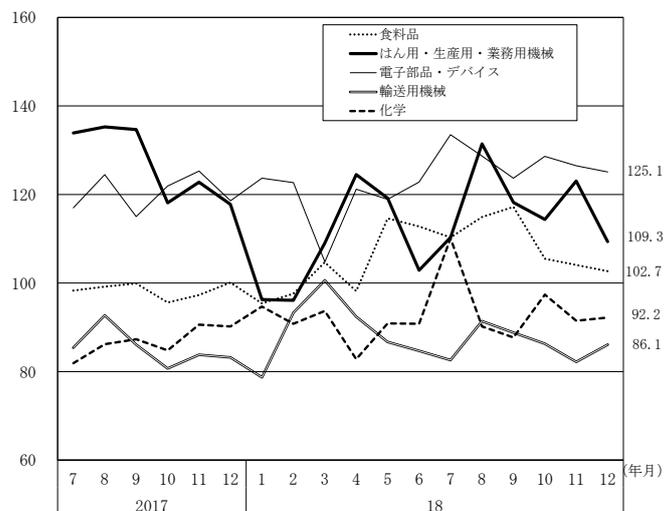
(資料)埼玉県

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、95.6で前月比1.0%上昇した(2か月ぶりの上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、業務用機械(医療用機械器具)などが低下したが、情報通信機械(カーオーディオ)、輸送用機械(乗用車)などが上昇した。

出荷指数(同)は、93.5で同1.5%低下した(2か月連続の低下)。プラスチック製品(プラスチック製容器)などが上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、業務用機械(医療用機械器具)などが低下した。

在庫指数(同)は、101.6で同2.4%低下した(3か月連続の低下)。プラスチック製品(プラスチック製容器)、非鉄金属(アルミニウム圧延製品)などが上昇したが、輸送用機械(乗用車)、はん用機械(ポンプ)などが低下した。

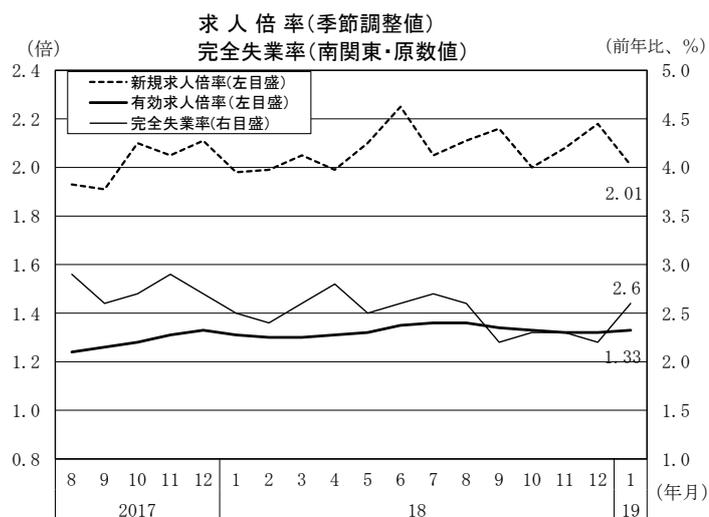
主要業種の生産指数(季節調整済) (2010年=100)



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、102.7で前月比1.3%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、109.3で同11.2%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は125.1で同1.1%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送用機械(同)は、86.1で同4.7%上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、92.2で同0.8%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

## 6 雇用情勢 着実に改善

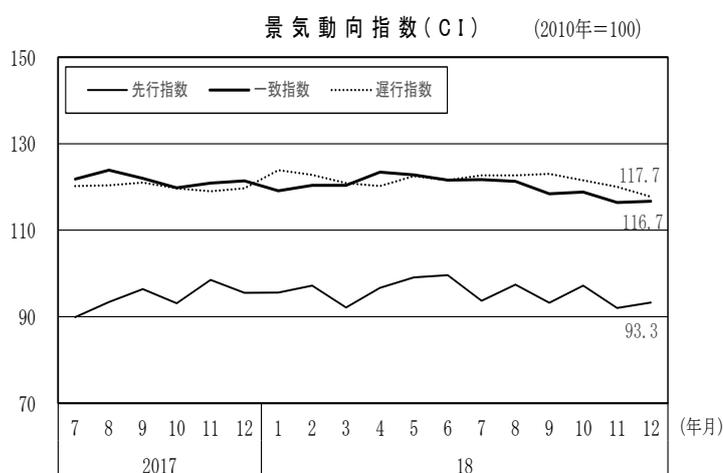


(資料)厚生労働省、総務省

1月の新規求人倍率(季節調整済)は2.01倍で前月比0.17ポイント低下したが、有効求人倍率(同)は1.33倍で同0.01ポイント上昇した。完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%と前月比0.4ポイント悪化した。

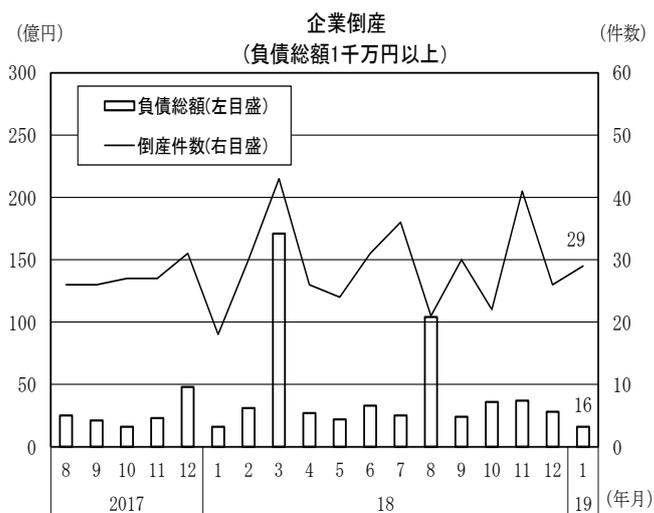
## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) 悪化を示している



(資料)埼玉県

## 7 企業倒産 件数は増加、金額は前年比横ばい



(資料)帝国データバンク

12月の企業倒産件数は29件で前年比11件の増加、負債総額は16億円で前年比横ばいとなった。

業種別にみると、小売業が10件で最多となっている。次いで製造業が5件、建設業と卸売業がそれぞれ4件となっている。主因別では、販売不振が25件で最も多くなっている。

12月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、116.7で前月比0.3ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、93.3で同1.3ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、117.7で同2.3ポイント低下し、3か月連続の低下となった。